

目的

～背景～

平成22年度の診療報酬改定において「薬局の調剤基本料における後発医薬品調剤体制加算の見直し」などが実施されるなど、後発医薬品の使用促進が進められている。これに伴い後発医薬品の販売品目が増加し、後発医薬品の検索が困難となりつつある。

～的確で迅速な後発医薬品検索～

- ◆ システムを用いることで、多くの後発医薬品からの確かつ迅速に目的の医薬品を選択する。
- ◆ 網羅性の高い後発品検索を行うことで、調剤・薬品採用時における後発品代替え検索の負担と時間を軽減する。
- ◆ 的確な後発医薬品の選択による医療安全及び患者満足への貢献。

開発

～方法～

- 対象： 医薬品：27,186品目中、添付文書入手した15,755品目（2011.5現在）
- Step1： 添付文書の【組成・性状】の項に記載されている有効成分が同じ医薬品を同一分類化・・・一般名のばらつきの問題を解消
- Step2： Step1の同一分類毎に、一製剤あたりの含有量が同じ医薬品を同一分類化・・・規格のばらつきの問題を解消

～データベース構築環境～

- ◆ Microsoft Access 2003

医薬品数 1

	内服	注射	外用 ²	全品目
全医薬品	8,731	4,139	2,885	15,755
先発医薬品	3,922	2,490	1,659	8,071
後発医薬品	4,809	1,649	1,226	7,684
後発医薬品/全医薬品 (%)	55.1%	39.8%	42.5%	48.8%

一般名で分類した場合の種類

	種類数
全医薬品	3,785
先発・後発混在	885
先発医薬品のみ	2,487
後発医薬品のみ	413

有効成分で分類した場合の種類

	種類数
全医薬品	2,307
先発・後発混在	598
先発医薬品のみ	1,602
後発医薬品のみ	107

「後発医薬品のみ」を商品名に展開

	内服	注射	外用	全品目数
後発医薬品のみ	758	240	173	1,171
後発医薬品のみ / 後発医薬品 (%)	15.8%	14.6%	14.1%	15.2%

	内服	注射	外用	全品目数
後発医薬品のみ	124	70	68	262
後発医薬品のみ / 後発医薬品 (%)	2.6%	4.2%	5.5%	3.4%

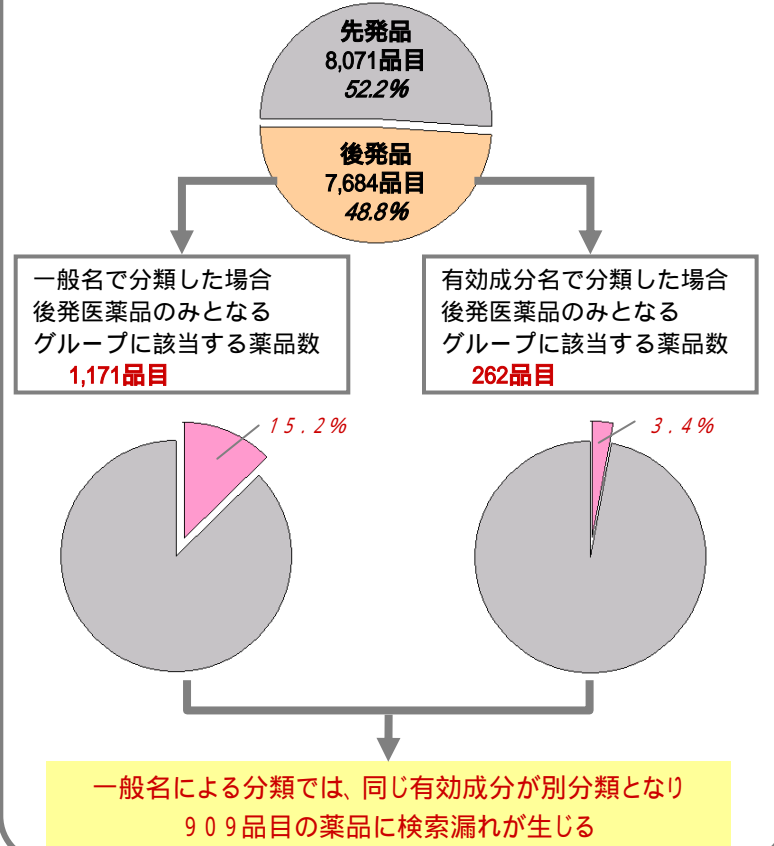
- ◆ 一般名で分類した場合の種類数 3,785種類
- ◆ 後発医薬品のみ 413種類

- ◆ 有効成分で分類した場合の種類数 2,307種類
- ◆ 後発医薬品のみ 107種類

・後発医薬品 = 診療報酬において後発医薬品調剤体制加算等の対象となる後発医薬品
 ・先発医薬品 = 後発医薬品調剤加算の対象とならない医薬品

歯科用薬を含む

先発医薬品から検索が出来ない後発医薬品



一般名で分類した場合の種類

YJコード	商品名	一般名	規格(告示規格)	一般名で分類	告示規格で分類
2391002F1025	カイトリル錠1mg	塩酸グラニセトロン錠	1mg1錠	a	1
2391002F2021	カイトリル錠2mg	塩酸グラニセトロン錠	2mg1錠	a	2
2391002C1037	カイトリル細粒0.4%	塩酸グラニセトロン細粒	2mg1包	b	1
2391002Q1026	グラニセトロン内服ゼリー1mg'ケミファ'	塩酸グラニセトロンゼリー	1mg1包	c	1
2391002Q2022	グラニセトロン内服ゼリー2mg'ケミファ'	塩酸グラニセトロンゼリー	2mg1包	c	2
2391400G3027	グラニセトロン静注液1mgシリンジ'NK'	塩酸グラニセトロンキット	1mg1mL1筒	d	1
2391400G1075	グラニセトロン点滴静注液3mg'バッグ'サワイ'	塩酸グラニセトロンキット	3mg100mL1袋	d	2
2391400G1130	カイトリル点滴静注液3mg/100mL	塩酸グラニセトロンキット	3mg100mL1袋	d	2
2391400G4031	グラニセトロン点滴静注液3mg/50mL'HK'	塩酸グラニセトロンキット	3mg50mL1袋	d	3
2391400G4023	カイトリル点滴静注液3mg/50mL	塩酸グラニセトロンキット	3mg50mL1袋	d	3
2391400G2020	グラニセトロン静注液3mgシリンジ'NK'	塩酸グラニセトロンキット	3mg3mL1筒	e	4
2391400A3091	グラニセトロン静注液1mg'タイヨー'	塩酸グラニセトロン注射液	1mg1mL1管	e	1
2391400A3024	カイトリル注1mg	塩酸グラニセトロン注射液	1mg1mL1管	e	1
2391400A4110	グラニセトロン静注液3mg'トロー'	塩酸グラニセトロン注射液	3mg3mL1管	e	2
2391400A4020	カイトリル注3mg	塩酸グラニセトロン注射液	3mg3mL1管	e	2

および は、投与経路が同じで、一製剤中の有効成分も同じだが、一般名および告示規格で分類すると、別分類となる。

有効成分で分類した場合の種類

YJコード	商品名	一般名	規格(告示規格)	成分分類	規格分類
2391002F1025	カイトリル錠1mg	塩酸グラニセトロン錠	1mg1錠	0750	001
2391002Q1026	グラニセトロン内服ゼリー1mg'ケミファ'	塩酸グラニセトロンゼリー	1mg1包	0750	001
2391002F2021	カイトリル錠2mg	塩酸グラニセトロン錠	2mg1錠	0750	002
2391002C1037	カイトリル細粒0.4%	塩酸グラニセトロン細粒	2mg1包	0750	002
2391002Q2022	グラニセトロン内服ゼリー2mg'ケミファ'	塩酸グラニセトロンゼリー	2mg1包	0750	002
2391400G3027	グラニセトロン静注液1mgシリンジ'NK'	塩酸グラニセトロンキット	1mg1mL1筒	0750	003
2391400A3091	グラニセトロン静注液1mg'タイヨー'	塩酸グラニセトロン注射液	1mg1mL1管	0750	003
2391400A3024	カイトリル注1mg	塩酸グラニセトロン注射液	1mg1mL1管	0750	003
2391400G1075	グラニセトロン点滴静注液3mg'バッグ'サワイ'	塩酸グラニセトロンキット	3mg100mL1袋	0750	004
2391400G1130	カイトリル点滴静注液3mg/100mL	塩酸グラニセトロンキット	3mg100mL1袋	0750	004
2391400G4031	グラニセトロン点滴静注液3mg/50mL'HK'	塩酸グラニセトロンキット	3mg50mL1袋	0750	004
2391400G4023	カイトリル点滴静注液3mg/50mL	塩酸グラニセトロンキット	3mg50mL1袋	0750	004
2391400G2020	グラニセトロン静注液3mgシリンジ'NK'	塩酸グラニセトロンキット	3mg3mL1筒	0750	004
2391400A4110	グラニセトロン静注液3mg'トロー'	塩酸グラニセトロン注射液	3mg3mL1管	0750	004
2391400A4020	カイトリル注3mg	塩酸グラニセトロン注射液	3mg3mL1管	0750	004

一製剤中の有効成分と規格により分類すると、および は、それぞれ同じ分類となる。

Step1: [成分分類] 有効成分による分類

- ・ 告示名称のばらつき
- ・ 塩基の違い
- などを考慮し、有効成分を同一グループ化した分類。

Step2: [規格分類] 製剤含有量で分類

- ・ 規格表示のばらつき
- ・ 剤形のばらつき
- などを考慮し、投与経路が同じで、一製剤中の成分含有量が同じものを同一グループ化した分類。
- 明らかに適応の異なる製剤は別分類とした。

活用方法

◆ 後発医薬品リストとのリンク

厚生労働省発表の「診療報酬において加算等の算定対象となる後発医薬品」の情報とリンクすることで、後発医薬品加算の対象となる薬剤を検索することが可能。

◆ 薬価データとのリンク

薬価を参照しながら、薬剤を選択することが可能。

◆ 効能効果データとのリンク

先発品との効能効果の違いを比較して、薬剤を選択することが可能。

◆ 剤形データとのリンク

錠剤・カプセル・散剤などの各剤型情報を組み合わせることで、目的の剤形を検索することが可能。

◆ 用法用量データとのリンク

先発品との用法用量の違いを比較して、薬剤を選択することが可能。

まとめ

- ◆ 現在、医薬品に占める後発医薬品の割合は約49%に上るが、品目や規格が多く、臨床において後発医薬品の的確な選択支援が解決すべき問題となっている。
- ◆ 厚生労働省より、「診療報酬において加算等の算定対象となる後発医薬品」は公示されているものの、先発医薬品と後発医薬品で告示される一般名が異なり、薬効分類や一般名を用いたシステムでは的確な後発医薬品の検索ができなかった。

今回構築した「後発医薬品選択支援データベース」により…

- ◆ 錠剤、OD錠、カプセルなどを同じ規格に分類することで幅広い代替薬品の検索ができるため、
- ◆ 厚生労働省の定める「含量規格が異なる後発医薬品への変更調剤」「類似する別剤形の後発医薬品への変更調剤」に対して貢献できる。
- ◆ 後発医薬品の採用検討や持参薬管理業務に対して貢献できる。

臨床において迅速かつ的確な薬剤の選択を行うことは、医療安全と患者満足の側面からも有用であると考えます。